●Kero Kero 通信●

崎山小児科・院内報

9月　２０２４年

第 306 号

知能検査と発達検査

保育所や小学校などから発達検査を勧められる子どもたちが最近増えています。知的レベルの発達を評価する知能検査として崎山小児科で実施可能なものは、2 歳から使える田中ビネー検査、5 歳から 16 歳までを対象とした WISC（ウィスク）検査があります。運動や姿勢の状況まで含めて評価を行う発達検査としては、幼児から成人まで実施可能な新版 K 式検査があります。いずれも子ども本人が、あるいは園や学校、保護者が何か困っていて日常生活の支障を感じている場合に、その困難さが一体どのようなことから生じているのか、子どもが園、学校、家庭でどのような支援が必要かの参考になる情報を得るための検査です。インフルエンザの検査や血液検査のように、結果を見て何か病名が判明する検査ではなく、発達の状態を確認する検査です。

比喩的に表現するなら、皆さんが中学生のときに受けた体力テスト（ハンドボール投げ、50m走、持久走、反復横跳び、握力、立ち幅跳びなど）のようなものです。走るのがクラスで一番遅いからといって、病名がつくことはありません。握力が弱い人が常に生活に支障を感じていることはありません。実は体力テストなどやらなくても、クラスの様子をよく見ていれば、「A 子さんは運動神経がいい」「B 君は、運動今一つだな」ぐらいのことは容易にわかります。「C 君はとにかく力はあるけれど、持久力はなさそう」という程度までは予想がつくことでしょう。体力テストをすることで、その予想の客観評価が可能になるとともに、「C 君の体力向上のためには、筋力トレーニングではなく、持久力を鍛える運動を教えよう」などの方針を立てることができます。発達検査、知能検査も同様に、日常生活上の苦労を減らすために必要な周囲の人の支援方法のヒントが得られる可能性があります。

これらの検査は、臨床心理士が 1 時間から 2 時間かけて実施し、検査結果の報告書の作成に 3 週間ほど時間がかかります。検査希望の方は、崎山が問診と診療を行って、検査の必要性について判断をしますので、まずは診療の予約をお願いします。なお、状況によっては希望される検査が実施できないこともありますのでご了承下さい。

お薬の飲ませ方

体調や機嫌の悪い子どもにお薬を飲ませるのは至難の業、苦労されている方も多いと思います。上手にお薬を飲ませるための工夫をいくつかご紹介します。

●乳児におすすめの飲ませ方●

・スポイトで

小皿に 1 回分の粉薬を入れ、少量の水で溶かします。溶かした薬をスポイトで吸い、赤ちゃんの状態を起こして、少しずつ頬の内側に添わせるようにして流し込みます。哺乳瓶を使っている赤ちゃんには哺乳瓶の乳首をくわえさせてそこに溶かした薬を入れて飲ませるのもよいでしょう。シロップも同様に飲ませます。

・ペースト状・だんご状にする

小皿に 1 回分の粉薬を入れ、少量の水で薬を練ってだんご状にします。上あごや頬の内側に塗り付け、その後すぐに水や白湯、ミルクを飲ませます。薬の名前に“ドライシロップ”と付いているものは水にとても溶けやすいので 1 滴ずつ水をたらして調整します。ミルクや授乳後だと飲んでくれないこともあるのでお薬を先に飲ませてからにしましょう。

●幼児におすすめの飲ませ方●

スプーンの上に粉薬をのせ、少量の水をたらしてそのままパクっとお口に入れて飲ませます。1 歳を過ぎる頃になればマグやおちょこを用いて水や白湯に溶かすこともできます。子どもの好きなスプーン、マグ、コップなどを使うのも良いでしょう。

●錠剤・カプセル●

錠剤やカプセルを飲める年齢には個人差があり、錠剤の大きさも異なるのでゆっくりチャレンジしましょう。錠剤は口やのどにくっつきやすいので、あらかじめ少量の水を飲ませて口の中を湿らせます。座った状態で舌の奥の方に薬を置き、そのあと水を飲ませます。飲んだ後は口の中に錠剤が残っていないか確認しましょう。

どうしても嫌がってしまう場合は食品や服薬ゼリーを使用することもできます。食品に混ぜる場合、薬の甘味のコーティングを溶かさない（水分の少ない）もの、薬の匂いを隠すものがおすすめです。<チョコレート、ジャム、アイスクリームなど>均一に混ぜるよりも薬をはさむようにしてスプーンに乗せて食べさせましょう。薬によっては飲食物と混ぜると効果が弱くなったり、苦味が増すものもありますので心配な時は薬剤師さんに相談してみて下さい。

言葉が理解できるようになったら薬のことをきちんと説明し、飲めたらしっかりほめてあげましょう。お薬には「病気をやっつける薬」と「症状を和らげる薬」があります。前者の薬は処方された分をしっかり飲みましょう。後者の薬は飲めない場合は無理して飲ませる必要はありません。

どうしても飲めない場合は一人で悩まずに薬剤師、医師、看護師にご相談下さい。

最新情報は X（エックス）で配信中　／　インフルエンザワクチンは 10 月 1 日（火）9:00～予約開始予定です